

福岡大学 産学官共同研究機関 資源循環・環境制御システム研究所 紹介

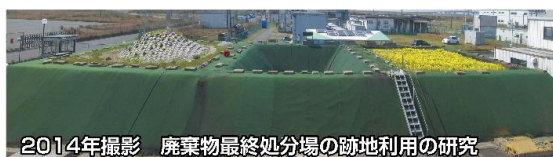
■ 福岡大学資環研 所長 為田一雄

当研究所は1997年に文部科学省学術フロンティア事業に採択され、地域の環境研究の拠点づくりを目的に1998年4月に開所しました。

初代の花嶋正孝所長（現福岡大学名誉教授）、第2期の中野勝之所長（現福岡大学名誉教授）、第3期の樋口壮太郎所長（現福岡大学名誉教授）、柳橋泰生所長の取り組みが多くの成果を生み、特に最終処分技術の分野では現在のわが国の代表的な技術の多くがここから発信され、全国の自治体や事業者にも活用されています。

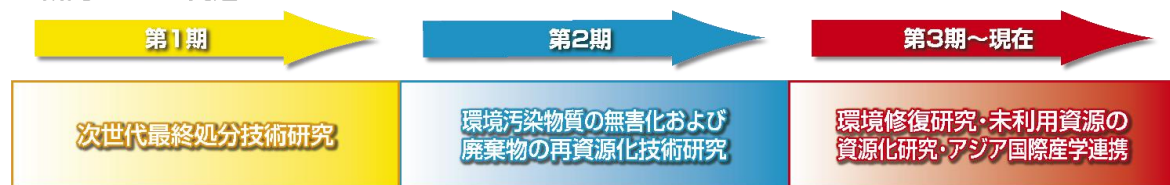


■ 廃棄物大型埋立実験槽



大型槽を使用実証実験はこれまで、「高濃度無機塩類を含む浸出水処理実験」（学術フロンティア事業）、「埋立地におけるダイオキシン類の長期挙動に関する研究」（環境省）、「硫化水素発生メカニズムの解明」（環境省）の実証実験を行いました。現在は「跡地利用研究」や「覆土代替材研究」のほか、市民が廃棄物最終処分場の構造を学ぶための環境教育施設としても活用しています。

■ 研究テーマの変遷



■ 研究プロジェクト

資源循環研究

- ・資源保管型埋立システム研究
- ・灰リサイクル研究
- ・廃プラスチックリサイクル研究
- ・副生塩リサイクル研究
- ・グリセリンリサイクル研究

環境制御研究

- ・地下水汚染対策研究
- ・WOW(廃棄物洗浄)システム研究
- ・毒性学を用いた環境評価研究
- ・霧状酸化剤による環境修復研究
- ・有機性汚泥早期安定化研究
- ・安定型処分場適正化研究

環境教育

- ・環境セミナー
「福岡大学エコスクール」開講
(体験学習型)
- ・NPOとの協働

国際産学連携

- ・韓国安養大学
- ・現代建設
- ・中国都市建設研究院

環境ビジネス

- ・NPOとの協働による事業化支援
- ・技術移転によるベンチャー支援

(実用化例)



霧状酸化剤注入装置



マルチバリアコンセプトに基づく被覆型処分場



ED膜法浸出水
脱塩処理



RO膜法浸出水
脱塩処理



福岡大学

産学官共同研究機関
資源循環・環境制御システム研究所

〒808-0002 北九州市若松区向洋町10

TEL 093-751-9975 FAX 093-751-9976

URL <https://ews.tec.fukuoka-u.ac.jp/fires/>

E-mail sikanken@adm.fukuoka-u.ac.jp